

3/ 23 古代の我が町に思いを馳せて

四国最大級の貝塚遺跡として全国的にも有名な「平城貝塚」で、愛媛大学考古学研究室を中心とした調査団が行った平城貝塚第6次発掘調査の状況について、現地説明会が実施されました。説明会では、調査を指揮した幸泉満夫准教授が、



「配石土壙墓（遺体の周囲に石を配置した墓）」や食料保管用の「貯蔵穴」、「平地式住居の柱穴」などを検出したことを報告し、今回の調査で、貝層と居住域の位置関係等が明らかになってきたことを説明しました。説明会に参加した古代史ファンは、古代の愛南町の暮らしを解明する上で多大な成果があったとする幸泉准教授の話に熱心に耳を傾けました。

4/ 12 交通ルールを守ってね

4月6日に始まった春の全国交通安全運動の期間中、愛南警察署、南宇和交通安全協会などが交通安全パレードや交通茶屋を実施し、交通事故防止を呼びかけました。

同安協西海支部と久良支部では、恒例となった「新入生による交通茶屋」を船越地区の旧西海有料道路沿いで実施し、船越小学校の新入生4名と2年生4名が参加しました。「愛南ぎょレンジャー」に扮した児童は、



道ゆくドライバーに交通安全グッズが入った袋を手渡し、「交通ルールを守って安全運転をお願いします。」と笑顔で声をかけました。

本日! 海日和!! vol.30 「麦わら細工」

麦の穂が実るこの季節を、^{ばくしゅう}麦秋と呼ぶ。いかにも日本的な表現で風情がある。実を取った後の麦わらは、麦わら帽子などの材料にもされている。

この麦わらでつくったような生き物がムギワラエビである。エビと名前がついているが、脚が8本（エビもカニも脚は10本）しかなくヤドカリの仲間である。体は1cmにも満たないが、脚が異常に長く7～8cmにもなる。ヤギやトサカなどのソフトコーラルの中に住んでいて、長い脚をゆったりと動かしながら生活している。初心者にも簡単に撮影できるため、ダイバーにも人気がある。

しかし、最近の研究により、みんながムギワラエビだと信じていたものが、実はオルトマンワラエビという名前だったことが判明した。私はウルトラマンの兄弟のような名前より、ムギワラエビと呼ぶほうが情緒があって好きなのだが・・・。

名前は変わってもオルトマンワラエビは今日ものんびりとサンゴの中でくらしている。

(写真: オルトマンワラエビ 撮影場所: 鹿島)
愛南サンゴを守る会 西尾知照



ウルトラマン? いいえオルトマン!